

一

次の問いに答えなさい。

問一

各文の――線の漢字の読みを、それぞれひらがなで書きなさい。

① 国家元首が訪問される。

② 直ちに遭難者を救助する。

③ 友人の車に便乗する。

④ 休憩時間を設ける。

問二

各文の――線のカタカナを、それぞれ漢字に直しなさい。

① イツシ乱れず行進する。

② 人生のキュウキョクの目的。

③ カホウは寝て待て。

④ りっぱなコウセキをあげる。

⑤ 植物のヒョウホンを作る。

⑥ クラス会にオンシを招く。

二

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。ただし、設問の都合で一部を改変しています。

※ 海馬は、生命の存続に役立つかという「ものさし」で情報の取捨選択をします。身の危険のない学校の教室で学ぶことなど、当面生きていくだけならどうでもよいことではありませんか。「右耳から入って左耳に抜ける」とよく言いますが、まさに海馬はそんな具合に、絶えず情報の消去を行っているのです。

ヒトは消費するエネルギー全体の二十％を脳で使っています。重さでいえば、脳は体重のたった二％に過ぎません。エネルギー効率という観点から、いかに脳はタイシヨクカンであるかが分かります。

長期記憶で情報をたくわえるためには、エネルギーを消費するはずですが、不要な情報を脳にたくわえるのは、エネルギーのムダ遣いです。こう考えると、海馬は省エネ主義者だとみなすこともできます。エネルギーを浪費するようなムダな情報は通過させない「財政担当大臣」です。

ですから、皆さんが「全然覚えられないよ」と嘆いたとしても、ある程度は仕方ありません。なぜなら、脳はそもそも、覚えることよりも、覚えないうことをずっと得意としているのですから。

脳科学的に見れば、「なかなか覚えられない」という嘆きは、きわめて当然なことです。せつかく苦勞して覚えたことを忘れてしまっても、クヨクヨと悩む必要はありません。自分の脳だけが特別に忘れやすいわけではなく、誰の脳でも同じことなのです。

② 雨は一人だけに降り注ぐわけではない。

ロングフェロー（詩人）

とは言っても、皆さんにとっては、授業中にドジな答えをして恥をかくことも、入試で落ちることも、食中毒で苦しむことと同じくらい大事なことです。ところが残念なことに、私たちの雇った海馬は、主人である私たちの希望にリ

ンキオウヘンに対応してはくれません。

その理由は、海馬がまだ進化的に未完成だからと私は考えています。海馬が現在の形になったのは、ホ乳類になったからのことです。どんなに古く見積もっても二億五千年くらいでしょうか。一方、ヒトが高次な文化を営むようになったのは、進化の歴史上で言えばさらに最近、せいぜい一万年前のことです。

生物の進化には何百万年から何億年という単位の年月が必要ですから、急速に発展したヒト文明に見合っただけの進化を海馬が遂げるには、まだまだ歴史が短すぎるのです。

A、学校で教わる知識を、まだ進化的に未熟な海馬に「必要なもの」として仕分けしてもらおうためには、一体どうしたらよいのでしょうか。それこそが、皆さんが今もつとも知りたいことではないでしょうか。

その方法は一つしかありません。海馬をダメすることです。とはいっても、この仕分け人に、賄賂を使ったり泣きついたりして揺さぶりをかけても、いっさい動じません。

海馬に必要なと認めてもらうには、できるだけ情熱を込めて、ひたすら誠実に何度も何度も繰り返し情報を送り続けるしかないのです。すると海馬は、「そんなにしつこくやって来るのだから必要な情報に違いない」と勘違いして、ついに大脳皮質に情報を通過させるのです。

古来「学習とは反復の訓練である」と言われてきたのは、脳科学の立場からもまったくその通りだと言えます。

B、学習したことを忘れてしまったとしても、いちいち落ち込んだり、気にしたりしてはいけません。また必要になったときに、もう一度覚え直せばよいのです。そうして覚えたものを、やはりまた忘れてしまったとしても、それでもヘコタレずにまた覚え直しましょう。そんな具合に、何度も何度も繰り返し覚え直しているうちに、脳はその知識を記憶に留めるようになるでしょう。

C、そうして苦勞してやつとモノにした知識を、またも忘れてしまったら、どうしたらよいでしょうか。何度も努力して、ようやく覚えたのに……。

- (2) ヒトにとって「脳はタイシヨクカンである」とはどういうことですか。「%」という言葉を必ず用いて、四十字以内で答えなさい。(句読点も字数にふくみます)

問二 ―― 線② 「雨は一人だけに降り注ぐわけではない」という詩人の言葉によって、作者はどういうことを伝えようとしていますか。二十字程度で答えなさい。(句読点も字数にふくみます)

問三 ―― 線③ 「リンキオウヘン」を漢字で正しく書くようになりますか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア、臨期応変 イ、臨気応変 ウ、臨黄応変 エ、臨木応変 オ、臨機応変

問四

A

D

 に入れる語として最も適当なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア、しかし イ、だから ウ、つまり エ、では

問五 ―― 線④ 「この仕分け人」とは何を指しますか。本文中から漢字二字でぬき出して答えなさい。

問六 ―― 線⑤ 「努力家」とありますが、作者は「成績がよい人」のことを、「努力家」以外の漢字三字の言葉でたとえて表現しています。その言葉とは何ですか。本文中からぬき出して答えなさい。

問七 本文についての説明として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア、海馬は生命の存続に関わる大切な情報もどんどん消去していくので、上手にダメさなければならぬ。
イ、海馬はエネルギーを浪費する重要な情報は不必要だと判断するので、上手にダメさなければならぬ。
ウ、海馬は進化的に未完成で賄賂や泣き落としは通用しないので、上手にダメされることが必要である。
エ、海馬をダメすとは、情報を繰り返し送り続け、生きるために必要な情報だと判断させることである。
オ、海馬をダメすることができる人は、入試に合格できるため、生命を存続させていくのに有利である。

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

宿題が出た。

卒業文集にのせる作文を、準備する季節になったのだ。テーマは、「将来の夢」。その作文の準備用のプリントをうめてくるのが、冬休みの宿題だった。プリントのいちばん上の四角に、将来の夢を書き、その下に、理由を箇条書きにする。理由は、いくつでもよいということだった。

詠子^{えいこ}は、そのプリントを見て、ため息をつく。めずらしいことだった。本来、詠子は、作文が、宿題の中でいちばん好きなのだ。

しかし、今回ばかりはテーマが問題だった。しかも、卒業文集にのる作文だ。よく書けた人だけ、授業中に一度だけ音読される、というのとはわけがちがう。クラス全員に配られ、みんなが持って帰り、きつと何年も、何十年も、おうちに大切にしまっておかれる。

※ 将来の夢は言葉屋だと、堂々と書くわけにはいかない詠子は悩んだ。

悩んで悩んで、学校だというのに、机の上にぐつんとおでこをぶつけるように、つつぶしてしまう。

「詠子？ 何してんの？ 今日、給食、カレーだよ。早く並ばないと、大盛りでなくなるかも」

上から、しいちゃんの声がふってくる。詠子は、ゆつくりと顔を上げた。机の上には、まだ宿題のプリントがしかれている。

しいちゃんは、眉^{まゆ}をよせた。

「あー、作文かー。アタシ、なんか書くの時間かかるんだよね。しゃべれって言われたら、いくらでもしゃべるんだけど、書けて言われると、なんも出てこなくなる」

あ、詠子との交換日記^{こうかん}は別ね、と最後に小声でつけくわえ、しいちゃんは笑う。

と、その時、教室の真ん中の方から、女の子たちの歓声^{かんせい}が聞こえてきた。

「瑠璃羽^{るりは}ちゃん、もう書いてる！」

「デザイナーだって、すごい」

見れば、瑠璃羽ちゃんたちの机のまわりに、何人か女の子が集まっている。みんなが見ているのは、例の宿題のプリントだ。どうやら瑠璃羽ちゃんは、もうプリントをうめてしまったようだった。

瑠璃羽ちゃんは、くるとしたまつげが愛らしい、人形のようにかわいい、おしゃれな女の子だ。今日の髪形^{かみがた}もおだんごに三つ編みが入っていて、A がこんでいる。

しかし、瑠璃羽ちゃんが昔から目立っているのは、ただおしゃれだからではない。いつも人の目をしっかりと見て、自分の意見をはきはきとB にする強さを持った瑠璃羽ちゃんは、視線も声も、何もかもが輝^{かがや}いていて、自然とまわりの人をひきつけるのだ。

そんな瑠璃羽ちゃんの前では、カレーでさえ、人気を横取りされてしまう。

「別にすごくないよ。みんなだって、夢あるでしょ？」

瑠璃羽ちゃんがよく通る声がそう告げると、まわりの女の子たちは、顔を見合わせる。

「えー。そりゃ、あるけど……。なんか、書くのはずかしいんだよね」

「わかるー。正直に書くかどうか、まようよね。みんなから、無理とか思われそうだし、なれなかつたら、将来、はずかしいし……」

^① 瑠璃羽ちゃんは、その子たちを、大きな瞳^{ひとみ}でじっと見つめた。すごく、まじめな顔をしている。

その視線に気がついたひとりが、あわてた。

「あ、瑠璃羽ちゃんは、いいんだよ？ 瑠璃羽ちゃんだったら、絶対なれるし、誰も無理とか思わないもん」

すると、瑠璃羽ちゃんはC を横にふった。顔は、真顔のままだ。

「ううん。わかんないよ。私が目指してるのは、自分のブランドつくれるファッションデザイナーだもん。それも、世界中の人に着てもらえるような服をつくるデザイナー。そんなの、すごい大変だって、わかってる」

瑠璃羽ちゃんの声が、想像以上に真剣なものであったからだろう。女の子たちは、もう一度顔を見合わせる。瑠璃羽ちゃんは続けた。

「でも、だから、言っておく。言っておいて、みんなに知られちゃったら、逃げられないもん。あとでつらくなった時、みんなが逃げ道をふさいでくれる。言ったもん勝ちって、そういう使い方もできると思う。言えれば勝ちってことじゃなくて、言ったら、自分に負けられなくなるってだけ。もちろん、あとから夢が変わることもあるかもしれないけど、その時だって、今、デザイナーになりたいって言っておいた方が、なんでデザイナーじゃなくて、そっちなのかって自分の中で、責任持って、ちゃんと考えられるもん」

瑠璃羽ちゃんは、いつも強い。

その強さに憧れる人もいれば、その強さをまぶしすぎると感じる人もいる。

そして、今日の瑠璃羽ちゃんには、多くの人が憧れた。それは、詠子のとなりにいたいちゃんも同じだったようだ。

「……たまに行きすぎる時もあるけど、今日の瑠璃羽は、かつこいいね」

しいちゃんは、詠子に D 打ちする。しかし、その声は、すぐにほかの歓声にかき消された。

「わたし、パティシエになりたい！」

「私は、保育士さん」

「実はあだし、ずっと声優になりたくて……」

女の子たちの打ち明け大会がはじまったのだ。

そんな明るい元気な声は、教室中をきらきらと輝かせて、詠子は思わず、うつむいた。机の上のプリントに、自分のかたちをした影が落ちる。

④ 今日の瑠璃羽ちゃんは、詠子にはまぶしすぎた。

(久米絵美里『言葉屋 ことのは薬箱のつくり方』)

注 ※ 言葉屋Ⅱ詠子の祖母がしている仕事。依頼を受けて「言珠」や「言箱」をつくり、言葉を言ったり、おさえた
りする気持ちを後おしする。

問一 A D に入れる語として最も適当なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア、耳 イ、手 ウ、口 エ、舌 オ、首

問二 〓 線「声は」がかかる部分を、次のア～カの中から一つ選び、記号で答えなさい。

そんな明るい元気な声は、ア教室中をイきらきらとウ輝かせて、エ詠子はオ思わず、カうつむいた。

問三 本文中から擬音語をふくんでいる一文を探し、最初と最後の三字をぬき出して答えなさい。
(句読点も字数にふくみます)

問四 —— 線① 「その視線に気がついたひとりが、あわてた」とありますが、このようになったのはなぜですか。その理由をまとめた次の文の（Ⅰ）、（Ⅱ）、（Ⅲ）に適当な言葉を補って、文を完成させなさい。ただし、（Ⅰ）は十字、（Ⅱ）は五字で本文中からそれぞれぬき出し、（Ⅲ）は十字以内で自分で考えて答えなさい。

みんなから（Ⅰ）とか、なれなかったら（Ⅱ）という自分たちの言葉は、
将来の夢を正直に書いた瑠璃羽ちゃんにも当てはまることになるので、瑠璃羽ちゃんが（Ⅲ）
のではないかと思ったから。

問五 —— 線② 「そういう使い方もできると思う」とありますが、本文でいう「そういう使い方」の意味として最も適当な表現を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア、先手必勝 イ、背水の陣 ウ、破竹の勢い エ、青雲の志

問六 —— 線③ 「今日の瑠璃羽は、かっこいいね」とありますが、「瑠璃羽」のどんなところにそう思ったのですか。「将来の夢を言うこと」という書き出しに続くように、六十五字以内で答えなさい。（句読点も字数にふくみます）

問七 —— 線④ 「今日の瑠璃羽ちゃんは、詠子にはまぶしすぎた」とありますが、それはなぜですか。理由として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア、将来の夢をみんなに宣言する瑠璃羽ちゃんは、きっとその夢をかなえるのだろうと確信したから。
イ、瑠璃羽ちゃんに刺激されて、次々と夢を言い始めたクラスの子たちが生き生きとして見えたから。
ウ、自分の夢をみんなに話す気持ちが消えてしまうほど、瑠璃羽ちゃんの強い決意に圧倒されたから。
エ、将来の夢を公言する瑠璃羽ちゃんの姿を見て、自分の夢を書けないもどかしさを感じているから。

問八 この後「詠子」はいろんな人と話をした結果、プリントの「将来の夢」のところに「私は将来、言葉で薬箱をつくる人に、なりたいです」と書きます。プリントを完成させるための続きを、自分で考えて書きなさい。（一文でかまいません）

受験番号	名前

令和2年度 前期 近畿大学附属広島中学校福山校入学試験 国語 解答用紙

一

問一 ①

②

③

④

問二 ①

②

③

④

得点

④

⑤

⑥

得点

二

問一 (1)

(2)

問二

問三

問四 A

B

C

D

問五

問六

問七

得点

三

問一 A

B

C

D

問二

問三

、

問四 I

II

III

問五

問六 将来の夢を言うことで

得点

問七

問八

総得点